



小千谷市立 総合支援学校 進路だより

No.1 (R6/4/8)

〒949-8721

小千谷市大字塩殿甲 2144 番地

TEL 0258-82-1878

進路指導・キャリア教育部 樋口華子

入学・進級

おめでとうございます!

将来に向けての大切な1年が始まります。みなさん、新たな目標に向かって
一步一步、確実に成長してほしいと願っています。入学・進級、おめでとうございます。



高等部卒業生の進路を紹介します!

令和5年度卒業生 7名

福祉サービス事業所利用 5名 (内訳)… 自立訓練 1名、生活介護 3名
就労継続支援B型 1名



企業就労 2名 (内訳)… 食品製造 1名
物流作業 1名



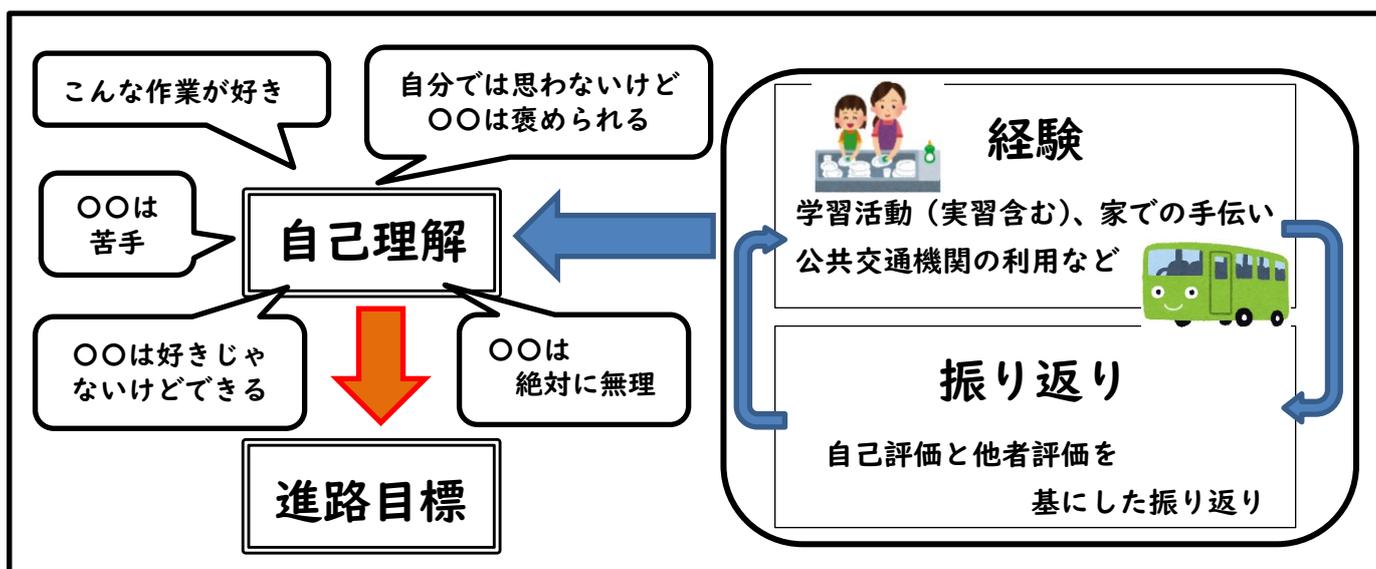
さて、卒業生7名が上記の進路を実現しました。皆さん「〇〇に行きたい」という気持ちを持ち、頑張った成果です。しかし、初めから「〇〇に行きたい」と明確な目標をもっていた生徒は、ほとんどいませんでした。では、どうやって目標を定め、実現したのでしょうか?



1 進路の目標設定 ~自己理解から進路目標へ~

高等部では、会社や福祉事業所で実際に仕事や活動を経験する職場実習があります。経験を通して自分の得意、不得意、好き、嫌いを振り返り自己評価をします。そして自己評価と実習先からの評価、2つの評価をすり合わせて自己理解へとつなげます。自己理解が難しい場合は、保護者様や周囲の支援者が本人理解を深めていくことが重要となります。自己理解ができていないと、目標自体が無理なものとなったり、本人に合っていないものになったりして、最終的に本人が苦しむこととなります。例えば、人と接するのが苦手な人が飲食店で働くと、「お客様と上手にお話ができない」と接客面で苦しむこととなります。逆に、正確に自己理解が出来ていれば、進路先で高い評価を得ることが出来ます。コミュニケーションが得意な人がお店や老人ホーム等で高く評価してもらえたり、同じ仕事をずっとやり続けられる人が工場では貴重な戦力となっ

たりという感じです。イメージだけで仕事を考えて失敗しないためにも、自己理解→進路目標というプロセスが大事になってきますので下記の図を参考にしてください。



2 ご家庭へのお願い



(1) 身に付けさせてほしい力

さて、自己理解ができるためには、様々な経験が必要となります。特にご家庭で大事にしていきたい経験は、**手伝い**と**公共交通機関の利用**です。手伝いの有無や内容でできる仕事の幅が違ってきます。ほんの少しの手伝いで結構です。できるだけ早くから始めるのがおすすめです。また、高等部の職場実習は、実習先までは個人で通勤(通所)することが基本です。卒業後に福祉事業所を利用する場合でも、ほとんどの事業所では自力通所が求められます。少しずつの経験が重要になります。

(2) 情報収集

進路を決めていく上で支援者の存在は大変重要です。最も身近な支援者は保護者の方です。お子さんにどのような進路が考えられるか、一緒に考えて選択できるように、小学部の段階からいろいろな情報にアンテナをはっていただけると有難いです。具体的には以下のようなものです。

- ・手帳取得や在学時から使える福祉サービス(日中一時や放課後デイサービスなど) について
- ・卒業後、福祉事業所を利用希望の場合 →福祉サービスについて
- ・卒業後、一般就労を希望する場合 →障害者雇用制度、職種への適性について
- ・お子さんの将来の経済的基盤を考えたい場合 →障害基礎年金について 等々

進路に関わることでご質問などありましたら、遠慮なくお問い合わせください。



昨年度に続き、進路を担当させて頂くことになりました、樋口華子と申します。様々な方と相談・連携しながら進めていきたいと思っております。本年度もご協力、よろしくお願いいたします。